



このお便りが届く頃には、「春一番」がふいて、人々の心も春に向かって明るくなっていると思います。ところで、「春一番」の由来は知っていますか。1859年(安政6年)2月13日、五島列島沖に出漁した壱岐郷ノ浦の漁師53人が強い突風にあって遭難してから、郷ノ浦の漁師の間で春の初めの強い南風を、春一または春一番と呼ぶようになったのが始まりだそうです。(キャンディーズからではありません。あしからず)平均、東京では2月22日頃です。また、春は暖かい日と寒い日を繰り返しながら訪れる・・・三寒四温ですね。我が家ではせめてカレンダーだけでもと、きれいな冬景色から花一杯の明るい写真に変えてしまいました。曜日の部分はセロハンテープで貼り付けて。小さな工夫ですが、春が近い気がして、結構気に入っています。



今が大切！次学年への準備の時です。

義務教育の場合、何にもしなくても、4月になれば次の学年に進みます。私達はそれに甘んじていませんか。そこで登場するのが、体は3年生、頭と気持ちは2年生といったアンバランスな子どもです。人は一夜にして、成長できません。親子で今から準備しておくとういいます。

「でも、いったいなにをすればいいの？」算数の計算、1年間で学習した漢字の書き取り、読書・・・その学年に応じたお手伝いや家族との団欒も大事かと思えます。子どもと一緒に時間を持てば、自然と、今我が子に必要なものが見えてくると思えます。親子の時間を大切にしてください。



子育て指南塾 第2回

<その3>旅行に行くときの話をします。我が家では、子どもが二人ですが、小さい時から、自分の荷物は自分でが当たり前でした。駅や空港をゴロゴロ4台のカー트가移動するわけです。カーターの使い方も教えました。とにかく、人の迷惑にならないこと、もしぶつかってしまったら、心から誤ること。大きくなると、お財布の管理もさせました、いつもより少しだけ多いお小遣い。それを計画的に使わせるのです。友だちのお土産はもちろん与えられた財布から。旅の記念となるお小遣いでまかないきれないものは、お母さんの財布から(もちろん1つです)今では私よりもお財布の管理がしっかりしている様子。わくわく感と一緒に社会勉強。私の成功例の1つです。それにしても、かわいかったなあ。今思い出しても、カーつを引いている大人気分の子もたち。

